

株式会社マトリクソーム



資本金：141百万円 従業員数：6名
所在地：大阪府吹田市山田丘3番2号 大阪大学蛋白質研究所
共同研究拠点棟2F-A3

担当者：津山陽一
電話：06-6877-0222
メール：y-tsuyama@matrixome.co.jp

製品・技術・サービスの名称

細胞培養 製品・技術

- 当社では、ES/iPS細胞を効率的かつ容易に培養できる幹細胞培養基質 **iMatrix-511** を販売しています。

★平成28年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞

- 大阪大学蛋白質研究所 寄付研究部門
教授 関口 清俊 (兼 株)マトリクソーム 取締役)
- 株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所
所長 服部 俊治 (兼 株)マトリクソーム 取締役)
- 京都大学iPS細胞研究所
講師 中川 誠人

セールスポイント

- **ES/iPS細胞の培養に最適化された幹細胞培養基質**
iMatrix-511は、全長のラミニン511から細胞と接着する部位を断片化したラミニン511-E8断片です。この断片は全長より強くES/iPS細胞と接着します。
- **ES/iPS細胞をシングルセルにして継代が可能**
iMatrix-511はES/iPS細胞と強く接着するので、継代操作の際、ES/iPS細胞をシングルセル状態にしても生存が可能です。
- **ES/iPS細胞の拡大培養が容易に可能**
継代操作の際、ES/iPS細胞をシングルセル状態にできるので、細胞培養の拡大効率を飛躍的に高めることができます。
- **コーティング操作が不要の「添加法」が登場**
継代操作の際、iMatrix-511をES/iPS細胞の懸濁液に直接添加するので、培養基材へのコーティングが不要。iMatrix-511だけが実現できる画期的な方法です。

再生医療分野における用途

「iMatrix-511」は、ES/iPS細胞を効率的かつ容易に大量製造することが可能です。臨床試験時に使用可能な 臨床用グレード の製品もございます。

iMatrix-511



細胞培養基質
ラミニン511-E8断片の高純度精製品

KRIC